

〈平成29年度 北九州市立木屋瀬小学校研究構想図〉

平成29年5月10日

今日的課題

- ・「生きる力」の育成
- ・心の育ちの推進
- ・知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
思考力・判断力・表現力を培うための授業改善
- ・健やかな体の育成

学校教育目標

自ら考え 心豊かで たくましい 子どもの育成

児童の実態

- ペアやグループによる学習にかなり慣れてきた。
- 自分で考えたり、説明したりする力は育ってきている
- コミュニケーション力が上がり、トラブルは減少してきている。
- ▲児童同士の主体的な話し合いができていない
- ▲基礎学力の定着が不十分

めざす子ども像

- 【自ら考える子ども】・自ら学びよく考える子 ・自分の考えを表現する子 ・正しい判断ができる子
- 【心豊かな子ども】・明るく素直な、やさしい子 ・言葉遣いや礼儀の正しい子 ・友達と仲良くする子
- 【たくましい子ども】・健康・安全に気をつける子 ・目標に向かって努力する子 ・進んではたらく子

木屋瀬中校区事業 すべて子どもたちに「自己実現」をめざす力を

- ◇ 子どもたち・保護者・地域等についての情報を交換する
- ◇ 各校の「人権教育」「学力保障」等の実践から学ぶ
- ◇ 各自の人権感覚・人権意識を見直す

研究仮説

- 【29年度】
- ・教科学習の中でも対人スキルアップの視点
- ・木屋瀬つながりプログラムの実践

- 【28年度】
- ・北九州子どもつながりプログラム
- ・日常的な取組

すべての教科・領域で

授業で生きる対人スキルアップ

北九州子どもつながりプログラム

- ☆ 『分かる授業』づくり5つのポイントの徹底
- 1 学び合いの基盤
- 2 板書には、必ず「めあて」と「まとめ」と「振り返り」
- 3 子どもの思考を深める「発問」の工夫
- 4 1単位時間の中に「話し合う活動」と「書く活動」
- 5 「まとめ」と「振り返り」終わりの5分の確保

- ☆ 相互交流の機会を効果的に設定し、学び合う力を育てる
- 交流する内容の工夫
 - ・何について
 - ・どんな順序で
 - ・どんな視点で
- 相互交流の場の確保
 - ・ペア学習
 - ・グループ学習
 - ・全体での練り合い

- ☆ 日頃の学習の中で対人スキルを高める
- 〈聞き手〉
 - ・互いに向かい合って(ペア)
 - ・目を見てうなずきながら聴く
 - ・質問をしたり感想を言ったりする
 - ・最後まできちんと聴く
- 〈話し手〉
 - ・資料を示しながら話す
 - ・誰でも発言できる話形を掲示

- ☆ 月に1回の対人スキルアップ学習(皿倉プログラムを参考に)
- ・集団形成に関する内容
- ・他者理解に関する内容
- ・自尊感情の育成に関する内容
- ☆ 日常的な取組
 - ・呼び捨て禁止
 - ・やさしい言葉遣い
 - ・プリント回し「ありがとう」
- 〈帰りの会〉
 - ・よいところ見つけ
 - ・ほめほめタイム 等

☆ 家庭学習の取組
・自主学習(クノートの活用)による
学習意欲の継続

☆ 自治的な取組
・朝自習の取組(漢字・計算検定)
・チャレンジタイムの取組

学びを深める授業づくり

学び合える学級集団づくり

